

2月17日：旧正月明けのマーケットは高値引け

ベトナム証券市場は取引時間中に急騰。先週水曜日から続いたテト（旧正月）が終わり、マーケットでは取引が再開された。

ホーチミン市場の主要指数であるVN指数は（旧正月明け）丑年最初の取引を3.66%（40.85ポイント）高の1,155.78ポイントで終えた。この上昇により、旧正月前の2日間に起きた弱気トレンドに終止符が打たれた。

本日の取引では425銘柄が上昇し、43銘柄のみ下落した。2銘柄は変わらずだった。

VN30指数での強い上昇はマーケットの強気トレンドに寄与した。大型株に連動するVN30指数は4%以上（45.42ポイント）上昇し、1,174.91ポイントで引けた。

同指数の組み入れ銘柄全てが上昇。そのうちペトロベトナムガス（GAS）、VPバンク（VPB）、ビンコムリテール（VRE）の3銘柄が7%のストップ高となった。

また全セクターの大型株に幅広い買いが入った。

公益、銀行、製造、建設セクターの株式が昨日の市場動向に影響を与えた。寄与度上位5銘柄はペトロベトナムガス（GAS）+6.89%、テクコムバンク（TCB）+6.67%、ベトナムゴム工業グループ（GVR）+6.86%、VPバンク（VPB）+6.88%、ビンホームズ（VHM）+4.43%であった。

休場明けの前、多くのアナリストはマーケットに関して楽観的だった。「旧正月明けの2週間、マーケットは上昇する傾向があると多くの年の市場サイクルで示される」（MB証券（MBS）の上席顧客対応専門家のグエン・デュイ・ディン氏）

実際、過去20年間でテト休暇明けの5日間の取引でVN指数の上昇確率は約65%であり、下落率より高い。

本日の取引では売買高が5億6,800万株以上、売買代金は14兆ドンだった。

ハノイ市場では、HXN指数は2.52%高の230.57ポイントだった。HNX30指数も4.1%高の350.72ポイントだった。

投資家は売買高で 8,680 万株以上、1 兆 5,000 億ドン以上に買い入れた。

概して売買高が 7 億株以上、売買代金は 16 兆 1,000 億ドンであったが、出来高は低かった。

一方、外国人投資家はホーチミン市場で 7,048 億ドン以上を買い越した。その反面、ハノイ市場では約 20 億ドンを売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。